



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊溪小独自の算数テスト(算数チャンピオン)を基に学力の実態把握</li> <li>言語活動の充実</li> <li>くり返しドリル型の学習の充実</li> <li>個に応じた指導(特別支援教育を含む)</li> <li>習熟度別指導の充実</li> <li>長期休業中や放課後の補充教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時数の確保(標準授業時数プラス10時間前後)</li> <li>朝学習の充実(算数基礎学習、読書、読み聞かせを実施)</li> <li>読書旬間</li> <li>体力増強週間の設定(なわとび・マラソン)</li> <li>図書館管理員の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究「学び合いの中で思いや考えを伝え合う児童の育成」国語科を中心に育成する。</li> <li>各学年1回の研究授業</li> <li>基礎研究のための講演会</li> <li>授業公開の実施</li> <li>OJT研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の過程で個に応じた形成的評価を行い、基礎・基本の確実な定着を目指し、指導の改善を行う。</li> <li>肯定的な評価や言葉掛けを行い、子供のよさを認め、自信を付け学習意欲を高める。</li> <li>教師による評価だけでなく、自己評価、相互評価を取り入れる。</li> <li>全学年・全教科の評価規準の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートの実施</li> <li>学校公開の実施</li> <li>教育ボランティア(読み聞かせ・農園活動・学習等)の活用</li> <li>学校評議員会の活用</li> <li>豊溪通言やホームページによる情報の提供</li> <li>幼稚園、保育園との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回校区別協議会を開き、課題改善カリキュラムを活用し中学校との共通認識を図る。</li> <li>小中一貫教育実践事例集の活用(主にキャリア教育の視点から)</li> </ul>
授業改善策の検証	・全国学力学習状況調査・児童・生徒の学力向上を図るための調査・年度末反省(教員)・保護者アンケート・学校評議員会				

